

立春

2月

4日頃

清水

仙北市立神代中学校

学校報

令和4年

1月26日発行

代藤様のしるしを、
 行彩乃選手に紹介し、
 藤乃選手に感謝の意を
 述べ、今後の活躍を
 応援する旨を述べた。

特別号

気は冬。二季の
 春は。あまの季の
 始。四月の
 二。あまの季の
 月。あまの季の
 季。あまの季の
 二。あまの季の
 月。あまの季の
 季。あまの季の

立春

秋田魁新報 2022年01月26日付 県南

東京五輪カヌー一競技出場・佐藤選手

「諦めず努力続けよう」

東京五輪のカヌー・スラローム女子カナディアンシングルに出場した佐藤彩乃選手(25)＝秋田病理組織細胞診研究センター＝が、母校の神代中学校(仙北市)で五輪の報告会を行った。全校生徒83人を前に、諦めずに努力することの大切さを訴えた。

佐藤選手は中学生で競技を始め、2012年に卒業。角館高を出た後は海外を拠点に腕を磨き、現在は仙北市内の自宅を拠点に競技を続けている。

報告会は21日に開催。生徒会長のT.Nさん(2年)によるインタビュー形式で進められ、佐藤選手は「楽しいことだけでなく、つらいこともあると思う。本当につらくて苦しい時は

逃げてもいいが、取り組みの先に自分が目指してきたものがつながつているのであれば、諦めずに頑張りたい」と語った。

話を聞いたT.Hさん(3年)は「楽しむことや諦めないことの大切さを感じた。部活や勉強に生かしていきたい」と刺激を受けた様子だった。最後は佐藤選手と全校生徒が記念撮影した。

神代中で後輩にメッセージ



努力することの大切さを訴えた佐藤選手

報告会 主なやりとり

報告会での主なやりとりは以下の通り。
 一いつ頃から五輪を意識していましたか。
 「具体的に考えるようになったのは、高校を卒業するころ、ナショナルチームに入った時。五輪が決まった時は本当にうれしかった」
 一五輪の結果には自分でどれぐらいの点数をつけますか。
 「満足していない部分もあったが、できることは全部できたし、すごく楽しめたので80点ぐらい」
 一緊張しないために心掛けていることはありますか。
 「緊張しないのは難しいこと。でも、大事なのは『自分でいること』と『今の状況を楽しむこと』。自分の気持ちが楽になるし、余計なことを考えずにいられる」
 一試合中にミスをしてしまった時にどうやって気持ちを切り替えていますか。
 「結果や成績のことなどを考えるとミスが出やすい。そういうことを考えないように、試合ではどうこくかに集中して頭を使うようにしている」
 一どうすれば勝負強くなれますか。
 「これというのはないかもしれないが、いざというときに助けてくれるのは、自分が毎日続けてきたことだと思う」

全校生徒と記念撮影する佐藤選手(中央)

